



リリースノート

Element Software

NetApp
January 15, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/element-software-123/concepts/concept_rm_whats_new_element.html on January 15, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

最新および以前のリリース情報	1
NetApp Element ソフトウェア	1
管理サービス	1
vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン	1
ストレージファームウェア	2
詳細については、こちらをご覧ください	2
新機能	2

最新および以前のリリース情報

ここでは、Element ストレージ環境のさまざまなコンポーネントに関する最新リリースノートと以前のリリースノートへのリンクを記載します。



ネットアップサポートのクレデンシャルでログインするように求められます。

NetApp Element ソフトウェア

- ["NetApp Element ソフトウェア 12.3.2 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 12.3.1 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 12.3 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 12.2.1 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 12.2 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 12.0.1 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 12.0 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 11.8.2 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 11.8.1 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 11.8 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 11.7 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 11.5.1 リリースノート"](#)
- ["NetApp Element ソフトウェア 11.3P1 リリースノート"](#)

管理サービス

- ["管理サービスリリースノート"](#)

vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン

- ["vCenter Plug-in 5.2リリースノート" _ 新規 _](#)
- ["vCenter Plug-in 5.1リリースノート"](#)
- ["vCenter Plug-in 5.0リリースノート"](#)
- ["vCenter Plug-in 4.10リリースノート"](#)
- ["vCenter Plug-in 4.9リリースノート"](#)
- ["vCenter Plug-in 4.8 リリースノート"](#)
- ["vCenter Plug-in 4.7 リリースノート"](#)
- ["vCenter Plug-in 4.6 リリースノート"](#)

- ["vCenter Plug-in 4.5 リリースノート"](#)
- ["『 vCenter Plug-in 4.4 Release Notes 』を参照してください"](#)
- ["vCenter Plug-in 4.3 リリースノート"](#)

ストレージファームウェア

- ["ストレージファームウェアバンドル 2.146 リリースノート \(最新\) "](#)
- ["ストレージファームウェアバンドル 2.99.2 リリースノート"](#)
- ["ストレージファームウェアバンドル 2.76 リリースノート"](#)
- ["ストレージファームウェアバンドル 2.27 リリースノート"](#)
- ["H610S BMC 3.84.07 リリースノート"](#)

詳細については、こちらをご覧ください


- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)
- ["vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"](#)
- ["以前のバージョンの NetApp SolidFire 製品および Element 製品に関するドキュメント"](#)
- ["SolidFire オールフラッシュストレージの概要"](#)

新機能

ネットアップでは、SolidFire および Element ソフトウェアを定期的に更新して、新機能、拡張機能、およびバグの修正を提供しています。Element 12.3 では、ソフトウェアによる保存データの暗号化の機能強化、セキュリティの強化、ストレージファームウェアのアップデート、スナップショット機能の強化、障害ドライブの動作の改善が導入されています。

NetApp Bugs Online には、既知の問題と解決済みの問題があります

既知の問題と解決済みの問題の一覧が NetApp Bugs Online ツールに表示されるようになりました。これらの問題は Element およびその他の製品で参照できます。

1. に進みます ["NetApp Bugs Online では"](#)。
2. [キーワードで検索 (Search by Keyword)] フィールドに製品名 (例えば、「エレメント」) を入力します。
3.  を選択します アイコンをクリックし、 * バージョン * で固定を選択し、 * OK * を選択します。

Manage Columns

<input checked="" type="checkbox"/>	Fav
<input type="checkbox"/>	Notes
<input checked="" type="checkbox"/>	Title
<input type="checkbox"/>	Summary
<input checked="" type="checkbox"/>	Severity
<input checked="" type="checkbox"/>	Fixed In Versions
<input checked="" type="checkbox"/>	Found In Versions
<input type="checkbox"/>	Workaround
<input type="checkbox"/>	Product ID
<input checked="" type="checkbox"/>	Bug ID
<input type="checkbox"/>	Bug Title
<input type="checkbox"/>	Internal Code Names
<input type="checkbox"/>	Internal Workarounds

Cancel OK

- リリースでフィルタリングするには、[バージョン * で固定] フィールドにリリースバージョンを入力します。

Element 12.3.2

Element 12.3.2 の新機能の詳細を確認してください。

Element ソフトウェア 12.3.2 リリースには、Apache log4j の脆弱性に対する Element ソフトウェアの影響を軽減する機能が含まれています。Virtual Volumes (VVol) 機能が有効になっている NetApp SolidFire ストレージクラスタは、この脆弱性の影響を受けやすくなっています。

Element 12.3.1

Element 12..1 の新機能の詳細については、こちらを参照してください。

ストレージファームウェアバンドル 2.99.2

Element 12.3.1 リリースには、ストレージファームウェアバンドルバージョン 2.99.2 が含まれています。ストレージクラスタがすでに Element 12.3 にある場合は、新しい 2.99.2 ファームウェアバンドルをインストールするだけで済みます。

SolidFire ESDS ホスト・プラットフォームの動的 CPU ノード定格のサポート

SolidFire ESDS では、24 種類のモデルからなるインテル® Gold および Silver Cascade Lake 世代の CPU を幅広くサポートしています。Dynamic Node Rating 機能は、CPU に基づいてホストサーバに 5 万 ~ 10 万の QoS IOPS レートを割り当てます。

CPU コアの数	ESDS ノードの IOPS レート
8.	5 万
10.	60 万
12.	75K
16 以上	10 万ドル

SolidFire ESDS のシングルボンドネットワーク構成がサポートされます

SolidFire ESDS を使用して、ホストに単一ボンドネットワーク構成を使用できるようになりました。

SolidFire エンタープライズ **SDS** での新しいサーバーのサポート

SolidFire ESDS が HPE DL380 サーバで利用可能になりました。を参照してください "[ネットアップの Interoperability Matrix Tool \(IMT\)](#)" サポートされている構成の詳細については、を参照してください。

Element 12.3

Element 12.3 の新機能について詳しくは、こちらをご覧ください。

FIFO スナップショット・キューのサポート

Element 12.3 では、ボリュームスナップショットの First-In First-Out (FIFO) キューを作成できます。Element API を使用すると、ボリュームの作成時に予約する FIFO スナップショットスロットの最小数と最大数を指定できます。ボリュームの FIFO スナップショットキューがいっぱいになると、そのボリュームに次に作成するスナップショットは、そのボリュームの最も古いスナップショットをシステムから削除します。FIFO スナップショットと非 FIFO スナップショットはどちらも、ボリューム上の使用可能なスナップショットスロットの同じプールを使用します。

次の Element API メソッドは、FIFO スナップショットに関連しています (を参照してください "[Element API のドキュメント](#)" 各 API メソッドの詳細については、を参照してください)。

- CreateGroupSnapshot を作成します
- スケジュールの作成

- CreateSnapshot の更新
- CreateVolume を使用します
- ModifyGroupSnapshot の追加
- ModifySchedule の追加
- ModifySnapshot の追加
- ModifyVolume の追加
- ModifyVolumes の場合に使用でき

スナップショットシリアル化のサポート

Element 12.3 では、シリアル化スナップショットの作成がサポートされてElement API を使用して新しい Snapshot を作成する際、以前の Snapshot レプリケーションがまだ実行中の場合は Snapshot を作成しないように指定できます。

次の Element API メソッドは、スナップショットのシリアル化に関連しています（を参照してください ["Element API のドキュメント"](#) 各 API メソッドの詳細については、を参照してください）。

- CreateGroupSnapshot を作成します
- スケジュールの作成
- CreateSnapshot の更新
- ModifySchedule の追加

Snapshot 保持のサポート

Element 12.3 では、スナップショットの保存期間を指定できます。Snapshot の保持期限または有効期限を指定しない場合、Snapshot は無期限に保持されます。

Snapshot の保持には次の Element API メソッドが関連します（を参照してください ["Element API のドキュメント"](#) 各 API メソッドの詳細については、を参照してください）。

- CreateGroupSnapshot を作成します
- スケジュールの作成
- CreateSnapshot の更新
- ModifyGroupSnapshot の追加
- ModifySchedule の追加
- ModifySnapshot の追加

ソフトウェアによる保存データの暗号化の機能拡張

ソフトウェア保存時の暗号化機能では、Element 12.3 に外部キー管理（EKM）とソフトウェア暗号化マスターキーのキー変更機能が導入されています。ストレージクラスタの作成時に保存データのソフトウェア暗号化を有効にすることができます。SolidFire エンタープライズ SDS ストレージクラスタを作成すると、保存データのソフトウェア暗号化がデフォルトで有効になります。この機能では、ストレージノード内の SSD に格納されているすべてのデータが暗号化され、クライアント IO のパフォーマンスへの影響は非常に小さく（最大 2%）すぎません。

ソフトウェア暗号化に関連する Element API メソッドは次のとおりです 休止状態（を参照） ["Element API のドキュメント"](#) 各 API メソッドの詳細については、[を参照してください](#)）。

- クラスタを作成
- DisableEncryptionAtRest
- EnableEncryptionAtRest
- GetSoftwareEncryptionAtRestInfo
- RekeySoftwareEncryptionAtRestMasterKey

ストレージノードのファームウェアの更新

Element 12.3 では、ストレージノード用のファームウェアの更新が含まれています。 ["詳細はこちら"](#)。

セキュリティの機能拡張

Element 12.3 では、ストレージノードおよび管理ノードのセキュリティの脆弱性を解決します。 ["詳細はこちら"](#)。これらのセキュリティ機能拡張について

ドライブ障害時の動作が改善されました

Element 12.3 は、ドライブの SMART ヘルスデータを使用して、SolidFire アプライアンスドライブの定期的なヘルスチェックを実行します。SMART ヘルスチェックに失敗したドライブは、障害に近い可能性があります。ドライブが SMART ヘルスチェックに失敗すると、ドライブは「Failed *」状態に移行し、重大度が「Drive with serial : <serial number> in slot : <node slot><drive slot> has failed the Smart overall health check.」という重大なクラスタエラーが表示されます。この問題を解決するには、ドライブを交換してください

SolidFire エンタープライズ SDS での新しいサーバーのサポート

SolidFire ESDS が Dell R640 サーバーで利用できるようになりました。[を参照してください](#) ["ネットアップの Interoperability Matrix Tool \(IMT\)"](#) サポートされている構成の詳細については、[を参照してください](#)。

SolidFire ESDS の既知の問題の新しい場所

で既知の問題を検索できるようになりました ["Bugs Online のツール \(ログインが必要\)"](#)。

詳細については、こちらをご覧ください

- ["『 NetApp Hybrid Cloud Control and Management Services Release Notes 』を参照してください"](#)
- ["vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"](#)
- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)
- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)
- ["以前のバージョン用の SolidFire および Element ソフトウェアドキュメントセンター"](#)
- ["NetApp HCI のリソースページ"](#)
- ["SolidFire ストレージノードでサポートされるストレージファームウェアのバージョン" _ 新規 _](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。